

第（ 5 ） 学 年 （ 理 ） 科 単元名「自由研究」での実践

| 項 目 | 内 容 | |
|-------------|--|---|
| ICT 活用の場面 | 自由研究の発表、聞いた人が感想を伝える | |
| 使用した ICT 機器 | <ul style="list-style-type: none"> ・タブレット テレビ ・タブレット（カメラ機能・まなびポケットのチャンネル） ・実物投影機（スカイメニュー「カメラ」、まなびポケット「チャンネル」 | |
| 具体的な方法 | <p><自由研究の内容の記録></p> <ul style="list-style-type: none"> ・研究結果をまとめた紙や写真などを「スカイメニュー」の「カメラ」で撮影して保存。次年度の自由研究の参考や、今後の学習内容で必要な時に活用できるようにする。 <p><発表></p> <ul style="list-style-type: none"> ・カメラで撮ったデータまたは実物投影機で自分が見てほしい部分をテレビに提示して、研究が伝わりやすくする。 <p><感想の交流></p> <ol style="list-style-type: none"> ①発表会を始める前に、まなびポケットのチャンネル「5年、理科」から全員が自分のテーマと「感想をください！」など入力して投稿する。 ②みんなから投稿されたテーマをあらかじめ見て、みんながどんな研究をしたのかを知り、興味をもって聞けるようにする。 ③発表が終わったら、コメントを投稿する。 | |
| | ○成果 | △課題 |
| 感想や改善策 | <ul style="list-style-type: none"> ・紙にまとめた自由研究を写真データとして記録しておく、必要な時に見ることができていい。 ・感想の交流にチャンネルを使うと、感想をすぐに伝えることができるし、タイピング技能の向上にもつながる。（今回はタイピング練習を目的にこの機能を活用したので、「途中で終わってもOK」とした） | <ul style="list-style-type: none"> ・まなびポケットに入っても、すぐに切れてしまう児童が多く、毎回再起動をかけていた。それでも入れない児童もあり、それによって学習意欲の低下が見られた。接続の安定化が一番重要課題。 ・それぞれがチャンネルで投稿してしまうと、投稿欄がたくさんになってしまうのが課題。また、教師が送っている必要な投稿がどんどん下に行き見えなくなってしまうのも課題。 |

